

事務事業名	公共土木施設単独災害復旧事業		所属部	建設部	所属課	建設工務課 (災害復興T)			
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉		所属G	災害復興G				
	施策名	〈12〉道路の整備		担当者名	板持 大悟				
	目的対象	市民	意図	市内及び市外へ安全で便利に移動できる。					
	基本事業	〈035〉道路の維持管理		電話番号	0854-40-1062 (内線) 2478				
目的対象	道路利用者	意図	安全に移動できる。			予 算 科 目			
				会計	0:1550:2	款	大事業	大事業	公共土木施設単独災害復旧事業
				項目	1:01:00:3	中事業	中事業	令和3年公共土木施設単独災害復旧事業	

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
災害発生箇所	道路、河川の機能を復旧することによって、安全に利用することができる。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ ) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( R3 年度 ~ R5 年度 )	・公共土木施設単独災害復旧事業は、市管理の河川、道路が異常な天然現象により被災を受けた場合、復旧するものである。 ・この事業の主な基準としては、日雨量80mm以上、時間雨量20mm以上で、河川の場合は雨量の他に断面積の2分の1以上の流量が必要である。 ・また、対象事業費は60万円未満である。(事業費60万円以上は国庫補助対象)
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
<input type="checkbox"/> 単独災害箇所 全体箇所数640箇所(道路:452箇所、河川188箇所) <input type="checkbox"/> 工事発注・監督 117箇所(道路:93箇所、河川24箇所)	・道路の安全確保や円滑な通行確保のため、道路の日常の点検が必要であり、職員による道路パトロールを実施している。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 発注率	%		49.2	67.5	100.0
イ 完了率	%		49.2	67.5	100.0
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)		② コストの推移		単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
【工事費】100,000千円 【地方債】災害復旧事業債	財源内訳	国庫支出金	千円					
		県支出金	千円					
		地方債	千円		221,900	93,000	200,000	
		その他	千円					
		一般財源	千円		93	7,000		
事業費計		千円		0	221,993	100,000	200,000	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	・道路・河川の施設管理者として早急な復旧対応を図ることにより、道路・河川の安全性が確保された。
② 事業実施するうえでの課題	・パトロール対象路線、河川数が多い中、専属の道路パトロール員が職員の中にいらないため初期段階での損傷の発見が困難。
③ 課題解決に向けた改革改善等	・災害に繋がる要因を早期発見・排除するため、年間を通じた道路・河川パトロール計画を立てることにより、災害前の維持管理体制の確立を図っている。